

## 倉吉市立河北中及び久米中の生徒が天神川について学ぶため倉吉河川国道事務所を訪問 (調査設計第1課・河川管理課)

学習発表会などで発表するテーマとして、倉吉河川国道事務所管理する天神川、小鴨川及び国府川等の河川について学ぶため、平成23年10月5日(水)に倉吉市立河北中学校、翌6日(木)に倉吉市立久米中学校の生徒が事務所を訪問しました。

訪問前に各々の学校から出されていた質問に対し、河北中学校には市街地を流れ住民の生活と隣り合わせにある天神川をきれいにする取り組みについて、久米中学校には学校近隣を流れる天神川や国府川の自然環境などについて説明を行いました。



倉吉市立河北中学校の皆さん



倉吉市立久米中学校の皆さん

まず、天神川が現在の姿になるまでの生い立ちや、天神川が急流河川で破堤したときに洪水が何処まで浸水被害を及ぼすのか、また、そのような災害が起こらないようにどのようなことを行っているかなどについて図や模型を用いて説明しました。

次に、天神川や小鴨川が全国でも有数のきれいな川であること、その影には下水道の整備等により生活排水を川に直接流さないような対策や、住民による清掃活動により現在のようなきれいな川があることなどを紹介しました。

「このきれいな河川環境を今後も維持し、更に向上させるにはどのようなことを行えば良いか」を生徒達に質問したところ、「自発的にゴミを拾う活動を行う」、「発表会を通してみんなに河川美化活動の推進等を訴えていきたい」などの意見が出ました。

これに対し事務所からは、「川をきれいにするには一人一人の心がけが大切で、そういう意識を持った人が多くなれば自然と川はきれいになっていくと思う。川についての質問などがあればいつでも相談してほしい」と結び、今回の訪問を終えました。